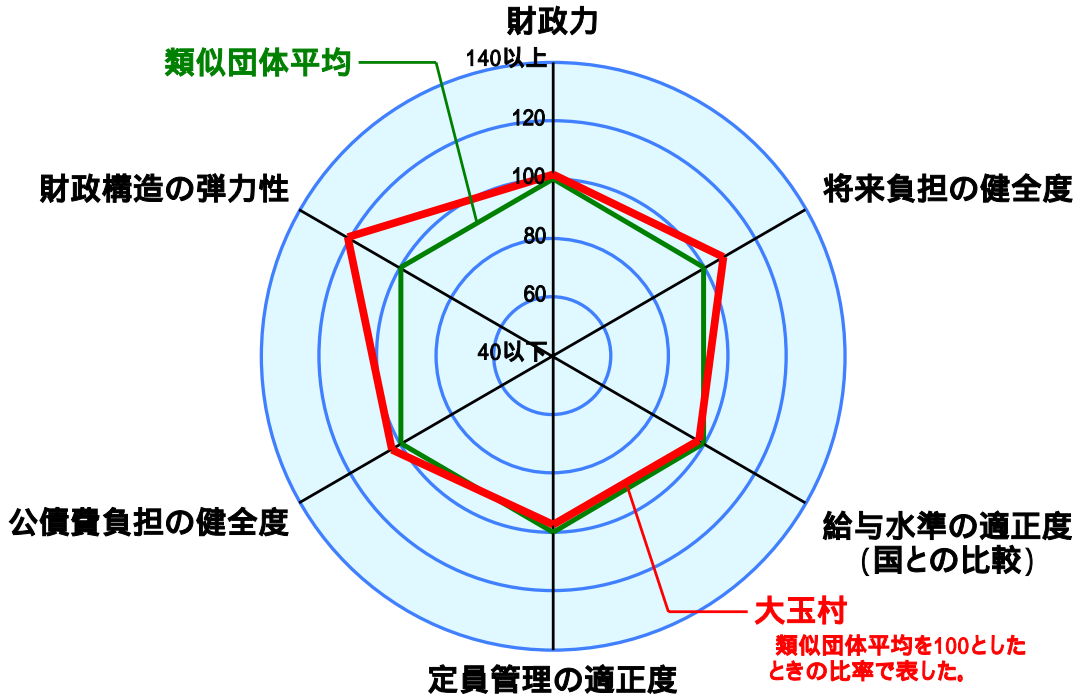
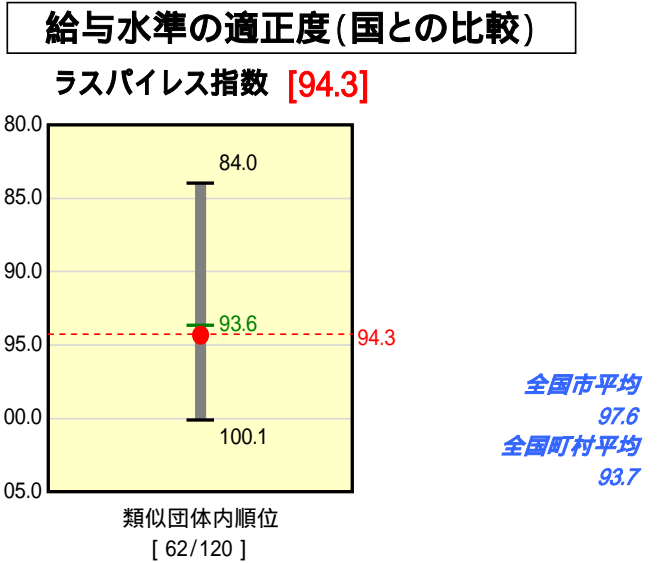
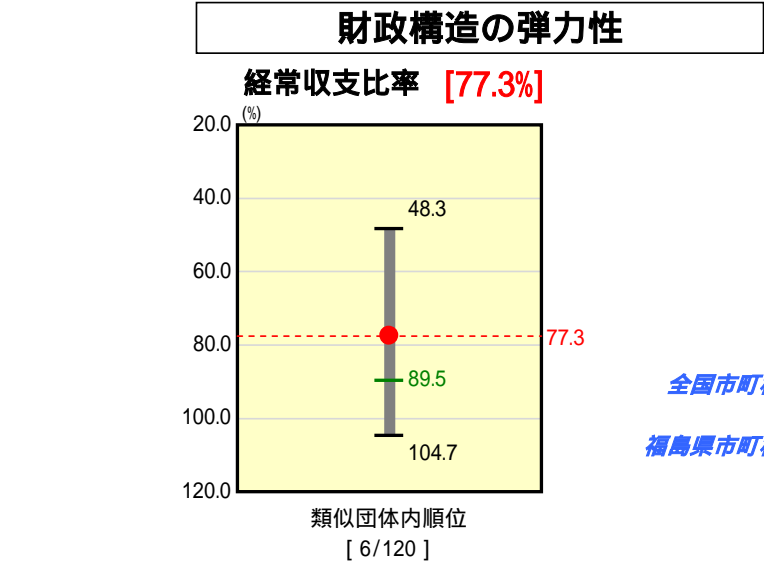
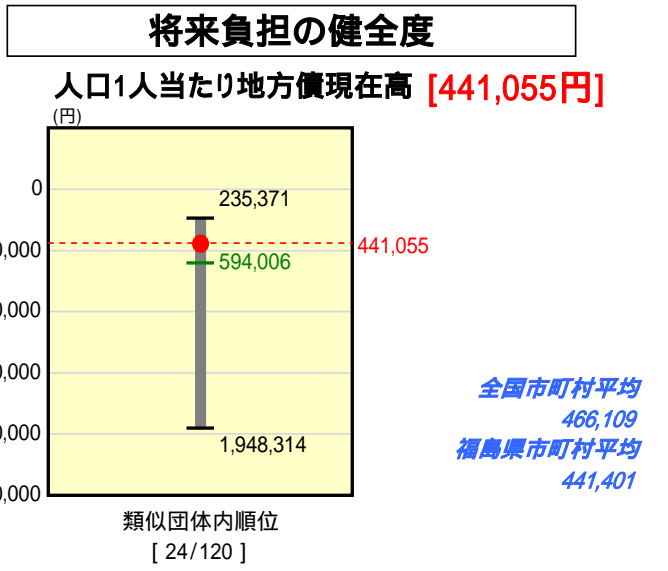
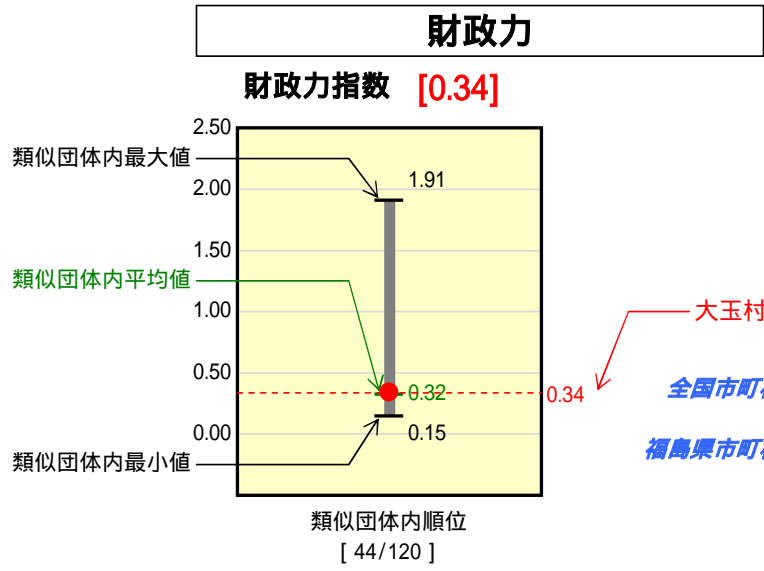


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福島県 大玉村

人口	8,588人(H17.3.31現在)
面積	79.46 km ²
歳入総額	3,665,066千円
歳出総額	3,481,735千円
実質収支	171,393千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数：類似団体平均(0.32)とほぼ同じ数値であるが、退職者不補充等による人件費の削減、重点事業の選別による投資的経費の抑制等、歳出の徹底的な見直しなどを実施するとともに、定住人口の増加施策などによる税収の向上対策を中心として、歳入の確保に努める。

経常収支比率：類似団体平均(89.5%)を下回っているが、公債費、扶助費等の増加により、比率は上昇傾向にあるので「集中改革プラン」に掲げたとおり、退職者不補充等による人件費の削減など行財政改革を推進し、現在の水準を維持する。

起債制限比率：起債抑制策により、類似団体平均(9.8%)を下回っているが、投資的事業と地方債の選別、元金償還額を超えない地方債の発行、さらに自己調整財源の充実に図り、引き続き比率上昇を抑える。

人口一人当たり地方債現在高：類似団体平均(594,006円)を下回っており、今後とも財政指標に留意しながら、大玉村独自の財政計画等に基づき計画的な財政運営を図り、地方債の発行を抑制する。

ラスパイレス指数：平成14年・97.6、平成15年・95.9、平成16年・93.4と年々下落の傾向にあったが、平成17年に階層の変動により、94.3と若干上昇し、類似団体平均を上回る結果となった。現在までも国家公務員制度準拠、並びに人事院等の勧告を遵守した制度を維持してきており、今後とも制度を堅持していく。

人口1,000人当たり職員数：村直営の温泉保養施設を運営しているため、観光部門での人員が他団体と比べ突出している。行財政改革推進計画の中に定員管理計画を定め、計画的採用等を実施していく。具体的には、民間委託の推進や退職者不補充により、平成16年度末110名から、平成21年度末において6名(5.45%)の減員を図り、104名を目標とする。

